

姦淫

知っておきたいキリスト教のことば (46)

姦淫という言葉は、普通の生活の中ではあまり使わないものです。十戒には、「姦淫してはならない(出エジプト 20 : 14)」という定めがありますが、どのような意味でしょうか。文字通りには、「配偶者がいる男性、または女性が、配偶者以外の異性と通じること」です。現代的に言い換えると、「不倫」や「浮気」という言葉に近いのかもしれませんが。



イエス様の時代には、姦淫をした人は十戒に背いたとして、死罪にされました。女性は石打ちの刑にされたこともあるようです。その背景には、イスラエルと神さまとの関係がありました。旧約聖書の中で、イスラエルは神さまの花嫁とされている箇所がありますが、そのために他の神さま(異教の神々)を拝むことは姦淫とみなされ、厳しく禁止されたのです。つまり姦淫はとんでもない罪でした。

さてイエス様は、この「姦淫」について、次のように言われています。「みだらな思いで他人の妻を見る者はだれでも、既に心の中でその女を犯したのである(マタイ 5 : 28)」と。

さらに他の場面では、姦淫の現場を押さえられた女性をどうするべきか、宗教指導者に問われた時に、イエス様はこう答えています。「あなたたちの中で罪を犯したことのない者が、まず、この女に石を投げなさい(ヨハネ 8 : 7)」。

このイエス様の言葉を聞いた指導者たちは、持っていた石を下に置き、みんな去って行ったそうです。誰も心の中で、罪を犯していたことに気が付いたのです。

わたしたちは姦淫の罪を犯していないでしょうか。

次回は「感謝」です。お楽しみに。